

磐梯山の火山活動解説資料（平成 24 年 12 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警
報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～2①）

剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁からの噴
気の高さは 100m 以下で噴気活動は低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 2②～⑥）

火山性地震は少ない状況が続いています。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（12 月 29 日 09 時 10 分頃）

- ・剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる。
- ・実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 100m。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 1 月分）は平成 25 年 2 月 7 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

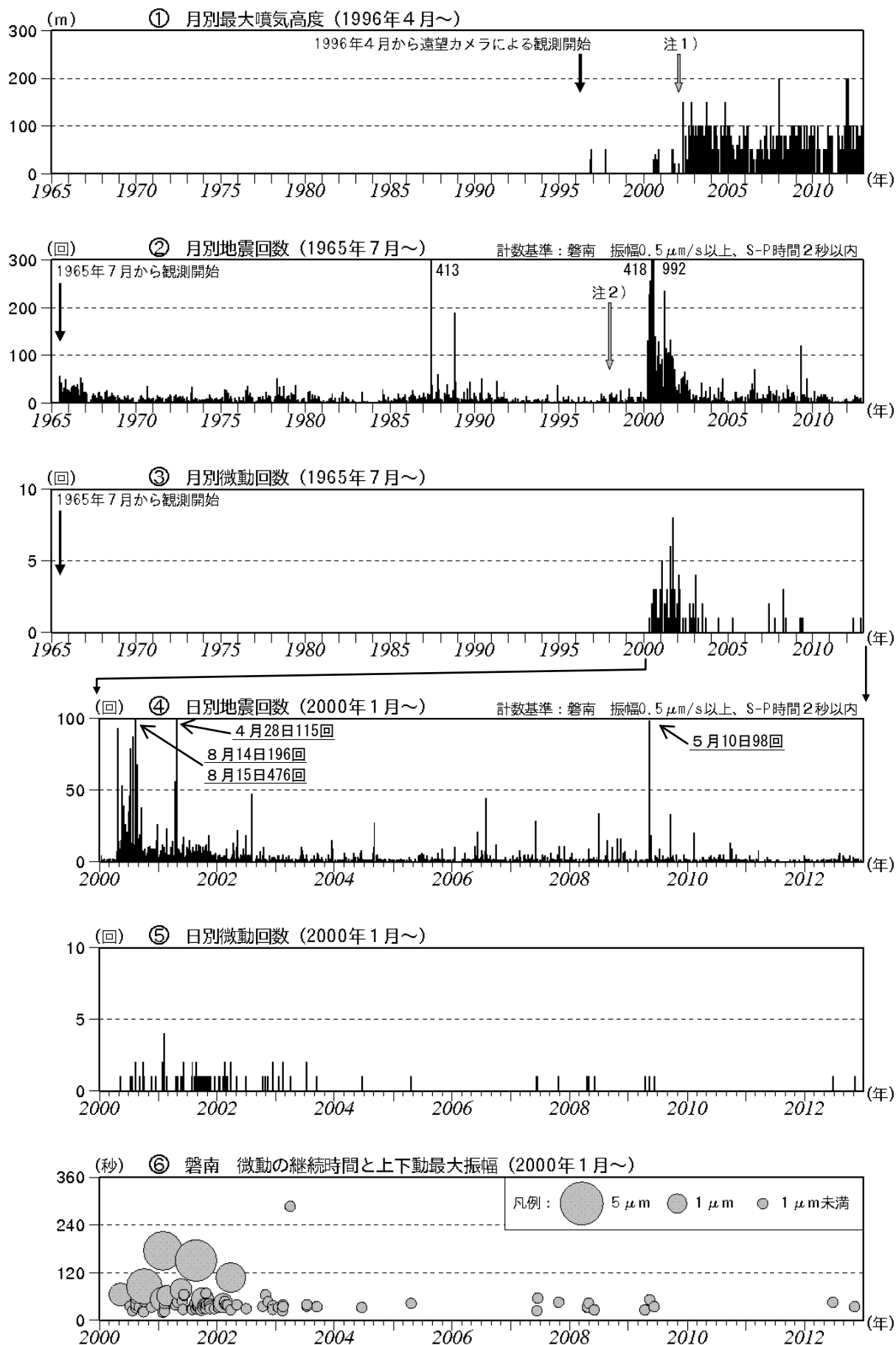


図2※ 磐梯山 火山活動経過図（1965年7月～2012年12月）

- ・①注1）2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・②注2）1998年より計数基準をS-P5秒以下からS-P2秒以下に変更しました。

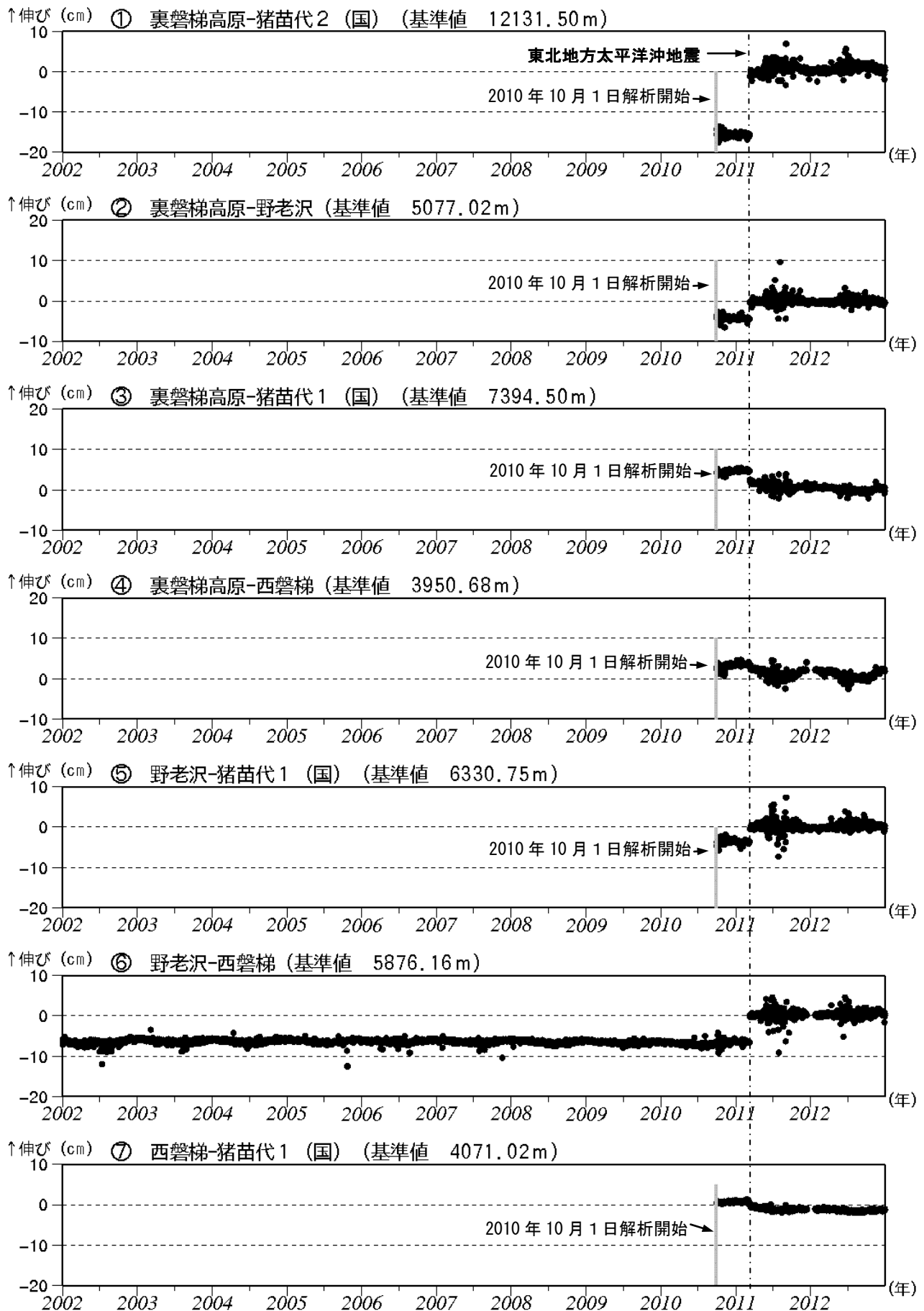


図 3※ 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月～2012 年 12 月)

- ・ 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・ ①～⑦は図 5 の GPS 基線①～⑦に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。

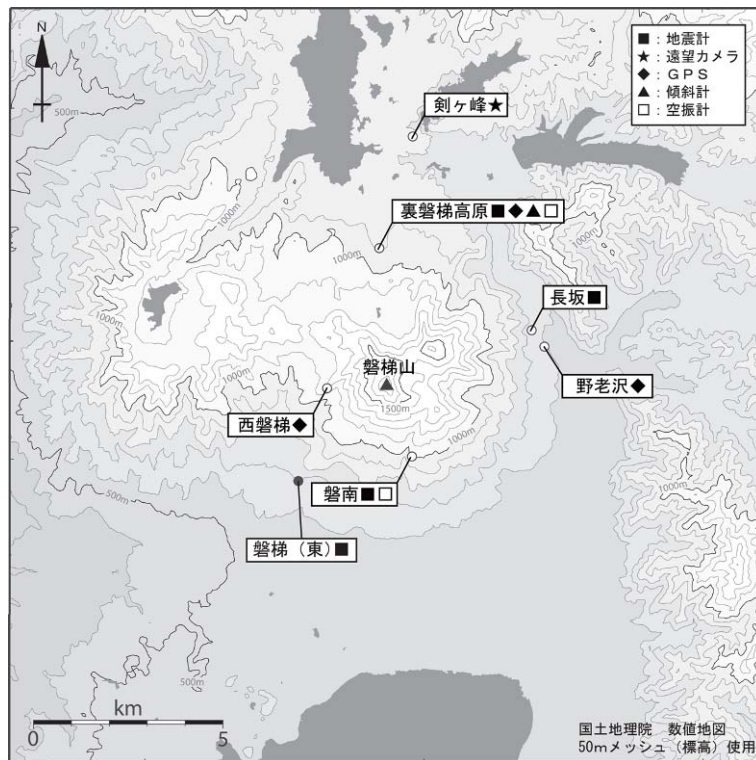


図 4 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

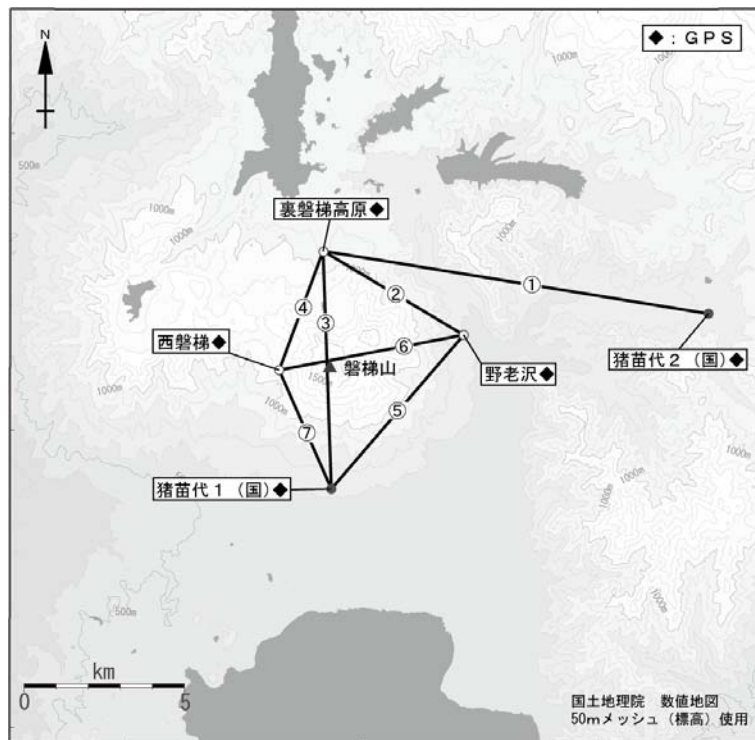


図 5 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院